

# 領内出張所

# だより

第61号

平成27年6月15日発行

TEL 77-2001

E-mail [ryonai@odaitown.jp](mailto:ryonai@odaitown.jp)



梅雨といっしょに紫陽花がきれいに咲き出しました。

雨にぬれた紫陽花はイキイキしてきれいです。

5月24日 領内神社夏祭り



境内の茅の輪をくぐり、お参りをします。田植えも終わり一段落した頃、お正月から、この時期まで無事に過ごしたことに感謝します。



午前10時より式典が始まりました。地区の代表者・宮総代が五穀豊穡・家内安全などを願い、玉串奉奠されました。



24・25年と夏祭りでのお餅まきが中止されていましたが、今年は復活しました。

梅雨前の夏祭りにたくさんの方が参加され、にぎあっていました。

## 茅の輪くぐりの意味

正月から半年間の無事に感謝し、後の半年の無病息災を祈願するという意味があります。

## 茅の輪をくぐることで災難を避ける

領内神社の夏祭りでは、無事に夏の暑さを乗り越えられるよう、水害が起こらず、害虫に荒らされぬよう、家内安全で1年間を過ごすことができる様、願いました。

## 「夏至祭」

五月雨月（さみだれつき）、皐月（さつき）、早苗月（さなえつき）など色々な呼び名で呼ばれる時期を迎えます。

二十四節気の中の一つ「夏至」。今年の夏至は6月22日です。

芒種（ぼうしゅ）は6月6日頃、入梅に入る少し前の頃をいいます。

芒（のぎ）は麦や稲の穀物の先にある針のような毛のことで、麦の収穫、稲を植え付ける時期のことを意味しています。

### ■ 伊勢の二見の夏至祭

日本は梅雨の頃、日照時間は冬よりも短くなるようです。気温も低くなり「梅雨寒」と言うようです。梅雨明けには夏らしい陽射しが戻ります。

太陽神、天照大神を祀る二見浦で「夏至祭」があります。二見岩の間から朝日が上がるのが夏至の前後2ヶ月ほどです。

富士山を背景に岩間から昇る太陽は、神秘的な風景で太陽信仰などの日本の古い行事として、夏至に限らず日常的にあったのではないのでしょうか。

### ■ 田植えが終えたことを祝う行事

夏至から数えて、11日目が半夏生（はんげしょう）とその日から5日間をいいます。

（今年は7月2日頃～7日頃です。）

半化粧「和名で方白草（かたしろくさ）毒草です」の咲く頃、梅雨も明ける頃と言われ、田植えの終わりの目安となる様です。

このころの行事で田植えが終わり次第、地方によっては焼きサバ、麦餅、団子など食べる習慣あります。

無事に作業が終えたことを共に喜び分かち合い祝う。

休息と祭りなど行事の始まりです。



### ■ 五月雨月で稲・作物の生長を望む

五月雨（さみだれ）サは聖なる、ミダレは水垂れ。

旧暦五月を五月雨月（さみだれつき）や皐月（さつき）半化粧（ハンゲショウ）や早苗月（さなえつき）、橘月（たちばなつき）など田植えに関わる名があります。

この五月雨が無くては稲や作物の成長を望めません。

季節に準じた順当な雨が、日本の四季の暮しを支えてくれています。

### ■ 梅雨入りを知らせ、夏を迎える草・花・虫

「蟻螂生」6月の初旬の頃…秋に産み付けられた卵から、かまきりが誕生する頃。

農作物には手をつけず害虫を捕まえてくれる、私たちにとってありがたい存在。

「腐草為螢」6月11日～15日頃…ホタルが暗闇に光を放ちながら飛び交う頃。

きれいな水辺に住んでいると思われがちですが、野原でも蒸れて腐りかけかけた草の下でも、明かりを灯し始める頃。

「梅子黄」6月16日～21日頃…梅雨入りの頃、梅の実が薄黄色に色づく頃。

さて、今年の梅雨にはどんな「呼び名」の雨になるのでしょうか？ 和暦コラム | 暦生活より



年に1回は自分のため受診しましょう。下記はバス検診です。

集団検診が始まります。

休日検診もあります。健康ほけん課にお申し込み下さい。

**7月17日(金)**の受診は**6月24日(水)～30日(火)**の間に予約をする。

領内地域総合 センター	午前 8:30～10:00	胃・肺・大腸・前立腺・肝炎・特定健診 後期高齢者健診・メタボ予防健診
	午前 9:30～10:00	乳(超音波・マンモ)
	午後 1:00～ 1:30	乳(超音波・マンモ) 子宮
神 滝 集 会 所	午前10:00～10:20	肺・大腸
滝 谷 集 会 所	午前10:30～10:40	肺・大腸
大原衛様宅前	午後 2:00～ 2:10	肺・大腸
保田正己様宅前	午後 2:20～ 2:30	肺・大腸

**8月19日(水)**の受診は**7月27日(月)～31日(金)**の間に予約をする。

明豆バス停前広場	午前10:40～10:50	肺・大腸
唐櫃バス停前広場	午前11:00～11:10	肺・大腸

検診は予約制です。大台町役場 健康ほけん課 電話82-3785

**★熱中症に注意しましょう。**

これからの季節、暑さ調節が出来ない子供・高齢者など、人により症状が違いますが、昔から「暑気あたり」と呼ばれてきた熱中症の起こる原因とは……

環境の要因	気温や温度が高い・風が弱い・日差しが強い など
からだの状態	激しい運動などにより体内に熱が産生された 暑さに体が慣れていない・疲れや寝不足、体調不良 など

身体は、皮膚から放熱や発汗により体温調整します。

外気が皮膚温以上の時や室温が非常に高いと、熱を下たり汗が出来にくくなり、熱中症を引き起こします。

**★応急処置の基本は3つです。**

- (1) 休 息 衣服をゆるめ、安静にします。
- (2) 冷 却 風通しの良い日陰で休ませます。  
氷のう、氷魂などで脇の下、首のまわり、  
脚の付け根を冷やし、出来るだけ早く体温を下げます。
- (3) 水分補給 意識がはっきりしていれば、水分補給(スポーツドリンク等)を行います。



意識がないとき、吐き気がある場合は、救急車呼び至急医療機関での治療が必要です！！！！

## 「絵手紙教室」

お友達や、家族への手紙に絵という思いを添えて届けてみませんか？

毎月1回絵手紙愛好家が集り教室を開催します。

始めての方もぜひご参加ください。

道具がない方は、お貸しできます。

日時 7月7日(火) 第1火曜

午後1時30分～3時まで

場所 領内地域総合センター

電話 77-2001

領内出張所に「領内ふれあい絵手紙」の作品を展示しています。

(写真は6月作成)

領内地内にお住まいの方に「お誕生日カード」としてお届けしています。



## 領内ニュース

6月初め、戸川昌二さん(大井)から珍しい「ナスの花」が咲いていると投稿を頂き早速訪ねました。

陽の当る畑に整然と並ぶナスの苗には、写真のようにナスのへたの部分が「葉」に変化し、その真中に花が咲いていました。

写真(下)は、完全にくっついたキュウリです。

実の途中から葉が生えているのを見たことがありますが、こんなキュウリ珍しいですよ。なかよしなんだ～ネ



## あ と が き

早くも6月なかば。先月末「熱中症」が心配されていました。

各地で梅雨に入り、夏場の「食中毒」も心配ですね。

梅干しなど生活の中にある薬草、日本には季節の中でたくさんの薬草があります。

重薬・十薬・ドクダミ……毒を排出する力を持った薬草。十薬(漢方名)は民間療法ではよく使われていたようですね。2項で「半夏生」を紹介しましたが、半夏生もドクダミ科の仲間です。白の花を咲かせるドクダミや、葉の半分を白く変えて咲く半化粧。

長い梅雨の中存在を知らしているのでしょうか？

さあ夏がきます！熱中症に気をつけましょう。(木下)